willとは？意味や使い方と be going toとの違いをわかりやすく解説

未来形とは何か

未来の出来事を表すために使うのが「未来形」という単元なんだ。
日本語でいうと「～だろう」「～でしょう」「～するつもり」と言った表現が未来形だよ。

英語では、助動詞の「will」と「be going to」という二つの形があるんだ。
それらの違いについて見ていこう。

助動詞「will」

日本語で「～するつもり」や「～するだろう」と未来のことを表すときに使うよ。
この単語は助動詞という単元になるんだ。

助動詞と言うのは、「動詞を助ける」働きをする単語のことで、canやmustなどと同じグループだよ。

助動詞を使った文の構文は、「主語 + 助動詞 + 動詞の原形」となるルールがある。だから、三人称単数現在の「S」が付かないということを覚えておこう。

willも同様で「主語 + will + 動詞の原形」となるよ。

© ゆみねこの教科書

現在形から未来形に変える手順

現在形を未来形(will)に変える場合は動詞の前にwillをつけるんだ。

「現在形」を未来形にすると、「will+動詞の原形」になるんだ。図で見てみよう。

このように現在形のときは主語が三人称単数形の場合は動詞に「ｓ」が付いていたんだ。
それが未来形の場合は、「willのあとは動詞の原形」に変更することに注意しよう。

willの省略

willは主語と合体して省略することが出来るんだ。

一覧で見てみよう。

省略前	省略	読み方
I will	I'll	アイル
You will	You'll	ユール
He will	He'll	ヒール
She will	She'll	シール
We will	We'll	ウィール
They will	They'll	ゼイル
It will	It'll	イトゥル

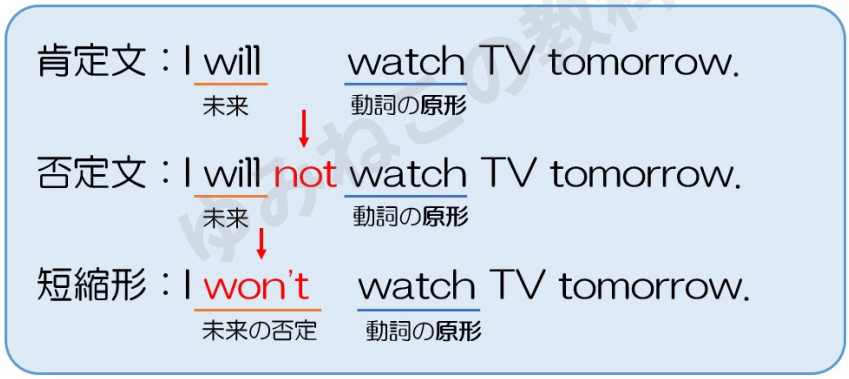
© ゆみねこの教科書

例文：

・You will see the Merlion.　(あなたはマーライオンが見えるでしょう)
・I will make a reservation.　(私は予約をするつもりだ)

willの否定文

日本語にすると「～しないだろう」「～しないつもりだ」という意味にするときは否定文にしよう。



willの否定文は「主語 + will not + 動詞の原形」という構文になるよ。
will notは短縮形があって、「won't (ウォント)」という単語になるんだ。
文字数で選択肢が変わる場合に注意しよう。

例文：

・I will not (won't) take pictures of the Merlion. (私はマーライオンの写真を撮らないつもりだ)
・I will not (won't) buy this cute pen.(私はこのかわいいペンを買わないつもりだ)
・We will not (won't) get to the restaurant soon.(私たちはすぐにはレストランにつかないだろう)

© ゆみねこの教科書

willの疑問文

日本語にすると「～するつもりですか」「～するでしょうか」という意味にするときは疑問文にしよう。

willの疑問文は「Will ＋ 主語 ＋ ～ ？」という構文になるよ。

例文：

- Will you take pictures of the Merlion?（あなたはマーライオンの写真を撮るつもりですか）
- Will you buy this cute pen?（あなたはこのかわいいペンを買うつもりですか）
- Will we get to the restaurant soon?（私たちはすぐレストランにつくでしょうか）

be going to

もう一つの未来を表す表現は「be going to」を使うよ。

be going to を使った場合はあらかじめ決まった予定や未来を表す表現だから、「つもりです」や「予定です」と訳すんだ。

このbeはbe動詞のことだから、主語に合わせて形を「am, is, are」に変えよう。

そしてもう一つ大事なことは、toの次に来るのは「動詞の原形」というルールがあるんだ。

構文：「主語 ＋ be going to ＋ 動詞の原形 ＋ ～.」という形になるよ。

© ゆみねこの教科書

現在形からbe going toを使った未来形への変換

現在形を未来形に変える場合は、動詞の前に「be going to」をつけるんだ。

そして、動詞は現在形から原形に変更するよ。

be動詞の原形は「be」を使うことに気を付けよう。

例文：

- I am going to visit Singapore nextweek. (私は来週シンガポールを訪れるつもりです)
- I'm going to have dinner on the airplane. (私は飛行機で夕食を食べる予定です)
- We will visit a famous park this Saturday.(私たちは今週の土曜日に有名な公園を訪れるつもりです)

be going toの否定文

否定文は日本語にすると「～しないだろう」「～しないつもりだ」という意味になるよ。

© ゆみねこの教科書

be going toを否定文にするときは、be going toにnotを入れて

「主語 + be not going to + 動詞の原形」にするんだ。

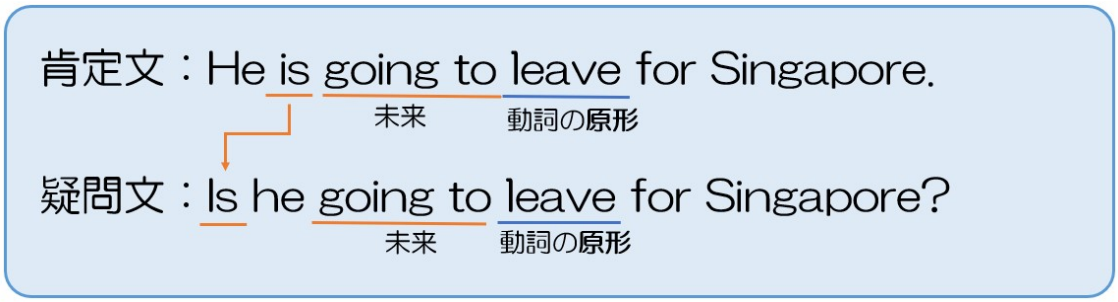
例文：

・I'm not going to eat cake. (私はケーキを食べないつもりです)
・We are not going to visit the park. (私たちは公園を訪れないつもりです)
・He is not going to see a doctor. (彼は病院に行かないつもりです)

be going toの疑問文

日本語にすると「～するつもりですか」「～する予定ですか」という意味にするときは疑問文にしよう。

be動詞の疑問文と同じように、「be + 主語 + going to + 動詞の原形 + ～?」という形になるよ。



主語によってbe動詞が変化するから気を付けよう！

・Are you going to leave for Singapore tomorrow? (あなたは明日シンガポールに出発する予定ですか)
・Is she going to do her homework this evening?（彼女は今日の夕方に宿題をするつもりですか）
・Are they going to go fishing next weekend?（彼らは週末に釣りに行く予定ですか）

© ゆみねこの教科書

willとbe going toの違い、使いわけ

willとbe going toはどちらも未来のことを表す表現だから、置き換えることができるんだ。

例えば、

I will go to the city. = I am going to go to the city.

You will eat lunch. = You are going to eat lunch.

でも使いたい意味によっては置き換えが出来ない場合があるんだ。

下記の表を見てみよう。

will を使う場合	be going to を使う場合
約束や提案の瞬間	予定の場合
自分の意志の場合	理由がある場合

会話しながら決めた場合

I will open the door(ドアを開けましょう)
⇒今ドアを開けることに決めた（事前に決まっていない）

予定していた場合

I am going to go camping. (キャンプに行くつもりです)
⇒前からキャンプに行く計画をしていた

「I will go camping.」と言った場合、今決めた！という感じになるよ。

このように、あらかじめ決まっていたことか決まっていないことかでwillとbe going toを使い分けることができるんだ。

© ゆみねこの教科書

まとめ

will
構文：「主語＋will+動詞の原形」
意味：「～するつもり」や「～するだろう」といった不確定な未来

be going to
構文：「主語 + be going to + 動詞の原形」
意味：「～する予定」や「～するつもり」といった確定した未来

© ゆみねこの教科書